

放送大学奈良学習センター オンライン連続セミナー 「教育臨床の最前線」

第6回 2026年2月15日(日)14時30分～16時30分 (Zoomによる開催)

「自傷行為の理解と援助」

講師：松本 俊彦氏

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 薬物依存研究部 部長／薬物依存症センター センター長

自傷行為は、通常、激しい怒りや不安、緊張、気分の落ち込みといったつらい感情を緩和するために行われ、その意味では、「死ぬこと」を目的とする自殺企図とは区別される行動といえる。しかし同時に、それは「生き延びるために」繰り返されながら、逆説的に死をたぐり寄せてしまう行動でもある。

講演では、自傷行為に対する基本的な理解と対応の原則を提示する。



こんな書籍も執筆されています。



【参加申し込み方法】

参加を希望される場合は奈良学習センターウェブサイトまたは下のQRコードからお申し込みください。

実施3日前を目途にお申し込み頂いた方個人個人のメールアドレス宛にZoomのURLを送信いたします。



主催 放送大学奈良学習センター (Tel:0742-20-7870)
共催 奈良国立大学機構奈良カレッジズ連携推進センター

講師紹介：松本 俊彦(まつもと としひこ)

精神科医.国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部長。1993年佐賀医科大学卒。横浜市立大学医学部附属病院精神科,国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所司法精神医学研究部,同研究所自殺予防総合対策センターなどを経て,2015年より現職。2017年より国立精神・神経医療研究センター病院薬物依存症センターセンター長。

オンライン連続セミナー「教育臨床の最前線」開催趣旨

いじめやひきこもり、不登校、リストカットやオーバードースなどの自傷行為、希死念慮など、近年、子どもや青少年をとりまく環境はますます困難なものになりつつあります。このオンラインセミナーでは、教育学や心理学、精神衛生の分野の第一線で活躍されておられる専門家を講師としてお招きして、教育の「最前線」でいま何が起きているのか、どういう支援が求められているのか、わたしたちおとなに何ができるのかについて、お話いただきます。

教育現場で子どもや青少年の教育に携わっておられる方、子育て中の方、広く教育に関心のある方、どなたでも参加できます。この分野の専門家である先生のご講演を聞くことができるのは貴重な機会です。ふるってご参加ください。

他回のご案内 こちらも是非ご参加ください。

(1回のみのも参加でも可) 詳細は放送大学奈良学習センターウェブサイトをご覧ください。

第1回 2026年1月11日(日)14時30分～16時30分

「子どものいのちを守るためにできること～おとなに求められる子どもの自殺予防～」
講師：阪中 順子氏(日本自殺予防学会理事)

第2回 2026年1月18日(日)14時30分～16時30分

「いじめの重大事態への対応～「調査に関するガイドライン」の改訂をふまえて～」
講師：新井 肇氏(関西外国語大学外国語学部教授)

第3回 2026年1月25日(日)14時30分～16時30分

「学校における心理教育と子どもの支援の実際－「SOSの出し方教育」の実践から」
講師：水野 治久氏(大阪教育大学教授／副学長)

第4回 2026年2月1日(日)14時30分～16時30分

「不登校の子どものこころと保護者の支援」
講師：伊藤 美奈子氏(神戸女子大学教授／奈良女子大学名誉教授)

第5回 2026年2月8日(日)14時30分～16時30分

「愛着障害と発達障害－その違い、関係、支援－」
講師：米澤 好史氏(和歌山大学教育学部教授)